

研究課題名	脳活動および生体指標を用いたストレスレジリエンス評価系の構築と層別化
研究責任者名	広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 特任教授 山脇 成人
研究期間	2022年8月16日(倫理委員会承認後)～2027年3月31日
対象者	2021年6月から2022年1月の間に、広島大学脳・こころ・感性科学研究センターで「安静時・課題時の簡便な脳波・生理計測」を行う研究(E疫-965; 課題名:感性情報の可視化および定量化へむけての基盤研究)に参加された方
意義・目的	一時的な認知ストレスを検出するための脳波や生理反応については提案されているものの、その脳メカニズムに基づいた手法はまだ提案されていません。本研究によって一時的なストレスに関わる脳波指標や生理指標が明らかになれば、認知的ストレスやそれに伴うネガティブ感性状態の定量評価が可能となり、認知的ストレスが生じうる日常的な状況におけるネガティブ感性状態の可視化技術への応用に大きく貢献できると考えられます。
方法	本研究は、研究で得られた脳波データ、生理計測データ、質問紙データを使用して行います。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。
研究の実施体制	研究代表者 広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 特任教授 山脇 成人 共同研究機関(研究機関、研究責任者) Meiji Seika ファルマ株式会社 平岡 秀一 株式会社マクニカ 林 靖彦
試料・情報の管理責任者	広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 特任教授 山脇 成人
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんので安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-1722 広島大学脳・こころ・感性科学研究センター 准教授 笹岡 貴史